

みうらトーク&トーク 第5弾

日 時 平成20年11月12日(水)
15時00分から16時05分
場 所 青少年会館1階ホール
参 加 者 市民 9名
市側 13名
テ ー マ 「環境教育について」



内 容

概要説明(教育部)

環境については、大人だけでなく子供達にも意識をもってもらうことが大切です。学校での取り組みや行政での取り組みをどのように連携して進めていくことが望ましいかを考えていきたいと思います。

今日はまず、南下浦小学校で子供達が取り組んでいる活動について、担当教諭から発表していただきます。そして、ご家庭での子供達の変化などを保護者の方からお話をいただければと思います。よろしくお願いします。

(南下浦小学校教諭)

南下浦小学校では総合的な学習の時間70時間を使いまして、「地球を救う。もったいない」をテーマに環境学習を行っています。持ち上がりクラスですので同じ子供達と、去年は健康や安全をテーマに食教育を行ってきましたが、調理実習や普段の生活をみていて子供達の水の使い方や食べ物に対する考え方が気になりました。今の子供達は、ものが豊かな時代に生まれていますので、感覚が違うんですね。「エコ」「地球温暖化」という言葉は知っていても、実際にどういうことか、どうしたらいいのかを知らない。興味はあっても、言葉だけが先走っている状態なんです。そこで、今年は環境について学習をすることにしました。

この学習は、大きく3つの構成になっています。

1つめは、調理実習です。去年のテーマであった健康からエコに視点を変えたらどうなるか。

2つめは、自分達の普段の行動が環境にどんな影響を与えているか。

3つめは、環境のために自分に何ができるのか。

1つめの「もったいないクッキング」では、ガスや水の無駄、食べ残し、ゴミや水の汚れ等のことから、どうしたら環境に優しい調理になるかを考えました。鍋蓋をしたときとしないときの温度を測ったり、水を出しっぱなしで調理を行うとどれだけの使用量になるのか等の実験を通して実感していきました。環境は少しの工夫でこんなに結果が違うということを知って、子供達の動機付けにしました。

次に、地球温暖化とはどういうことなのかを調べるため、東京の「ストップおんだん館」へ社会見学に出かけました。口にする食べ物がどこから来ているのかによって排出するエネルギーが違ふこと、家電の待機電力や自動販売機の消費されている電気量を知って、驚きや今までとは違う視点でみることを学んできました。

そして、三浦市での影響を調べてみたところ、農家ではダイコンの生長に変化がみられるので種まきの時期をずらしていたり、ワカメの収穫時期が変わってきていることを知りました。

昔と比べて気温が高くなっているということを知って、気象庁のデータからグラフを作ってみると、数値でもそれが実証されて身近なところにも温暖化の影響があると分かったんですね。

このようなことから、学校でプロジェクトを作ってマイナス5%の削減をするために取り組んでいます。このプロジェクトを作ったことで、校内の点検や無駄の理由を考える機会ができ、実際の削減に向けて子供達は意欲的になっていますし、行動が変わってきました。

(市職員)

ありがとうございました。今の、学校での取り組みによって、ご家庭でも子供達が変わった様子などをお話いただければと思います。

(市 民)

家で子供が料理するときに、水を出しっぱなしにしないとか、材料の無駄をいかに少なくするかを考えるようになりました。

子供自身が環境に気をつけて生活していくこともそうですが、子供に言われることの影響は家族のなかでも大きいです。親や祖父母も響くところが違うと思いますね。

(市 民)

子供に指摘されることが多くなりました。鍋蓋をしたほうがいいのか、不要な電気を消せとか。逆に、子供にも「エコは？」というと、素直に電気を消すなどの行動も見られるようになりました。エコを習慣にすることや子供と一緒に考えることが増えてきています。

(市 民)

学校でとても丁寧に指導してくださることで、子供の伸びる力や心を引き出していく環境ができていて素晴らしいと感じています。自分で調べたり、研究発表をすることで、一人ひとりがプロジェクトに参加しているという意識が育っています。子供なりに自分の持っている力を発揮しようと一生懸命頑張っている姿がみられます。

意見交換

(市 長)

以前、環境問題についてのトーク＆トークを行ったときも、環境改善に取り組んでいただいている「あしたの暮らしを考える会」の方達とお話をしたときも、子供と環境問題に取り組んでいく必要があるということになりました。

それがありませんでしたので、実際に環境教育を実践されている南下浦小学校にお話を聞きながら、市内にどう広げていくかを考えたいと思いました。ぜひ、色んなご意見をお聞かせください。

(教 諭)

今回の「もったいないクッキング」から始まって、問題意識が広がって、行動に移すという経過を辿って、やっとここまできた状態です。

これをきっかけに、市内の学校等にも広まっていくことを期待しています。

(市 長)

学校の活動をきっかけにして、PTAの皆さんの間で話題になるようなことはありますか。

(市 民)

まだないですね。

(市 民)

学校が主体となって取り組んでいる例は聞いたことがありますが、南下浦小学校のように、子供が主体となって取り組むのは本当に素晴らしいと思いました。子供というのは習ったことを実践しようとはしますが、大人はやはり目先のことに囚われてしまいがちです。大人が実践をしていくには時間がかかるというのもあります。子供に働きかけることで即効力があるというか、それをあらためて感じました。

洗剤に含まれる化学物質の問題等も、輸入食品のエネルギー問題と併せて学校で取り上げていただけると広がりがうまれて、いいなと思いました。

(市 民)

私は、もう一步学習を進めていただけるとありがたいなと思いました。

自分の家庭からでる汚水が、地球や海に対してどのような影響を与えているかということを加えて欲しかったなと。海で獲れる魚を私達は食べていますので、海に与えている影響は自分に戻ってくるんですね。地球の環境循環というものを考える必要があると思います。

月に一度、海浜の清掃をしているのですが、目につくゴミはお菓子の袋です。プラスチックは分解されないので、残ってしまいます。そういったゴミを容易に捨てないように、環境を考えてくれると一石二鳥だと思います。

(市 長)

南下浦小学校のような活動を他の学校にも広げてほしいと思います。

(市職員)

教育研究所では、情報を共有できるコンピュータシステムを各学校に提供していきまして、この活動もそこに入っていますので、各学校は情報を手に入れることができます。教育研究会での発表も波及効果が期待できると思いますし、教育委員会ではそのような活動をしています。

(市 長)

学校で行う総合学習のテーマは、様々ですか。

(教 諭)

子供達とともに担任教諭が決めていきますので、テーマは様々です。

ただ、今回の環境学習は、南下浦小学校としての大きなテーマとして、今後整理をしながら取り組めたらいいとは思っています。

(市 長)

学校に市の職員が出かけて行って、環境の話をする事は可能ですか。

(教 諭)

三浦市のことを話してくれる機会があれば、子供達の刺激になります。

さきほどのワカメの収穫の話でも、実際に携わっている方にお話を聞いたことで、本当に大きな衝撃をもって実感することができました。以前は11月頃から4月頃まで収穫できたものが、現在は1月に入ってからでないと収穫できなくて3月にはとれなくなっている。これは聞いてみないと分からないことであるし、身近な環境の変化を知るいい機会でした。

市内の全てのことを子供達だけで調べられるかということもありますし、市の職員がお話をしてくれたり、資料を示してくれたら、いいですね。

学校としては、地域の大人に認識をして貰う意味を含めて、市民センター等で子供達の研究発表を保護者と一緒にできないかと考えています。

(市 長)

子供達の活動を、市の大きな団体等に紹介するのもいいかもしれませんね。

市としても広報できる場を考えていきたいと思います。

(市 民)

子供と大人の認識には、大きなギャップがあるように思えます。学校での取り組みがあって子供のほうが知識も行動も進んでいて、親のほうが教えられているというように感じます。

親が先に知識や行動をして子供に教える、そういうことができるといいと思います。

(市 長)

大人は分かっているんですよね。わかっていて、出来ないというか。

(市 民)

例えば、風呂敷を持っているけれど、使っていないくて。風呂敷の使い方を授業で知った子供に教えられたりしています。

(市 民)

「あしたの暮らしを考える会」にお声をかけていただければ、保護者の方が環境学習をする際にはご協力できると思います。

(市 民)

今回の南下浦小学校の取り組みを、子供達を交えて公開授業のようにしていただけると活気が伝わって、より広がると思います。今後の展開が本当に楽しみです。

(市 長)

私も今回初めてこのような活動を知って、いいことをやっているなと思いました。

市民の皆さんの活動を目にするたびに、こんなにいいことを広げる手段はないものかと考えることが多いのですが、これも広げていきたいですね。

(市職員)

本日は、長時間ありがとうございました。

これでトーク＆トークを終了します。

※ 公表については、了解を得ております。